

日仏フォーラム 生きものの気配：芸術とロボットの領域

2017年3月20日(月) | 14:00-17.00 |
東京大学本郷キャンパス | 武田ホール

入場無料
Entrée libre
日仏同時通訳付
Traduction simultanée
japonais-français

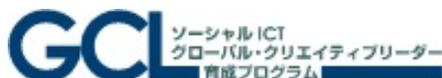


FORUM FRANCO-JAPONAIS Signature de la vie : arts et robotique

LUNDI 20 MARS 2017 | 14.00-17.00 |
Takeda Hall | Campus de Hongo | Université de Tokyo

オンライン登録をお願いします:

Inscription en ligne recommandée : <http://www.institutfrancais.jp/robot/>



ジェンチャン・ベンチャー
Gentiane VENTURE
ロボティシスト



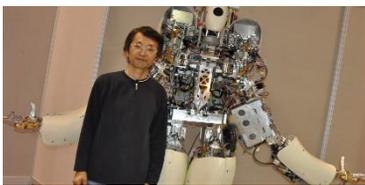
東京農工大学准教授。個性に基づくヒューマン・ロボットインタラクティブを目指し、人間の動力学からロボットの行動をデザインする研究に取り組む。心理学者、生理学者、神経科学者、デザイナー、人間工学者、バイオメカニストとの学際的なフィールドで活躍。

増井岳人
Taketo MASUI
彫刻家



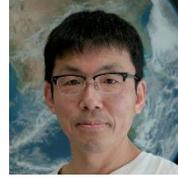
1979年生まれ。
東京藝術大学博士後期課程修了。
東京藝術大学彫刻科非常勤講師。
新制作協会会員。
国内外での個展、グループ展多数。

中村仁彦
Yoshihiko NAKAMURA
ロボティシスト



京都大学助手、University of California Santa Barbara准教授を経て、現在東京大学教授。Collège de France 客員教授(2009)。Technische Universität München、客員特別教授。ロボットメカニズムと運動制御の専門家。行動の記号化やニューロ・バイオメカニクス・シミュレーションから人の運動と知能の原理を探索。セルビア工学アカデミー外国人会員。

久保田晃弘 (モデレータ)
Akihiro KUBOTA
メディア・アーティスト



多摩美術大学 情報デザイン学科教授。世界初の芸術衛星と深宇宙彫刻の打ち上げに成功した衛星芸術プロジェクト ARTSATをはじめ、自然知能と知能の美学、ライブ・コーディングと自作楽器によるライブ・パフォーマンスなど、さまざまな領域を横断・結合するハイブリッドな創作の世界を開拓中。アルス・エレクトロニカ 2015 優秀賞受賞。第66回芸術選奨文部科学大臣賞。

生きものの気配： 芸術とロボットの領域

人と物との決定的な違いは「気配」である。エレベータの中で知らない二人が無言でいるとき、灰皿の台座が置かれたエレベータに一人が無言でいるときの違いを考えてみて欲しい。空間の緊張は物質の変化でなく、観察する者とされる者の内面に存在している。気配は生き物の間に生まれる関係である。彫刻家は像によって人の内面を表現しようとし、置かれた空間を変化させようとする。インタラクティブ・アーティストは運動によってものに気配を与えて、物と人間との空間を歪ませて揺らぎを作る。俳優の動きは気高い内面を表わしたり、瞬間的な感情の起伏を伝えたりすることができる。人と物の間で気配が作る関係は、人と人の間で気配が作る関係にどこまで肉薄できるのだろうか。ロボットと二人きりになったエレベータで人は、灰皿の台座のときのように平穏でいられるだろうか。ロボットがそばにすることが日常になった社会では、ロボットの気配をつくることは、はたして芸術の領域かテクノロジーの領域か。

主催 東京大学ソーシャルICTグローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム
在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本
協賛 ヴェオリア・ジャパン株式会社
第6回「デジタル・ショック」の一環として

Co-organisé par Programme d'études supérieures des leaders créatifs globaux en technologies de la communication et de l'information sociales de l'Université de Tokyo et l'Institut français du Japon / Ambassade de France à Tokyo

Avec le soutien de Véolia Japon
Dans le cadre du Festival Digital Choc

www.institutfrancais.jp/digitalchoc

オンライン登録をお願いします：

Inscription en ligne recommandée：

<http://www.institutfrancais.jp/robot/>



ジョンポール・ローモン
Jean-Paul LAUMOND
ロボティシスト



LAAS-CNRS 研究室長。仏日ヒューマノイドロボット研究所共同所長(2005-2008)。LAAS-CNRSでヒューマン・モーションの研究チーム Gepettoを立ち上げる。ヨーロピアンプロジェクト Actanthropeでは人間的な動作の計算理論を研究。Ecole Normale Supérieureでロボティクスを講義。Collège De France 教授、Liliane Bettancourt 技術革新講座(2011-2012)。フランス技術アカデミー会員。

サミュエル・ビアンキニ
Samuel
BIANCHINI
アーティスト



École Nationale Supérieure des Arts Décoratifs 准教授。リフレクティブ・インタラクティブ研究グループ代表。オペレーショナル・エスティック(活動の中の芸術性)の立場を支持しながら、最先端テクノロジーデバイス、表現の様式、芸術体験の形態、社会政治組織などの関係性の中で創作。

Nuit Blanche Toronto, Water-fall Gallery (New York), Palais de Tokyo (Paris), Institut Français (Tokyo)などで定期的に作品を紹介。

アクセス—Accès

東京大学本郷キャンパス武田ホール
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16

2-11-16 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0032

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

地下鉄 千代田線 根津駅 (C14) 1番出口徒歩5分
南北線 東大前駅 (N12) 1番出口徒歩10分
丸の内線、大江戸線 本郷3丁目駅 (M21, E08) 徒歩25分
Station Nezu, Todaimae, Hongo sancho